

令和6年度 豊田市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和7年5月

豊田市（愛知県）

○計画期間:令和5年4月～令和10年3月(5年0月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和6年度終了時点(令和7年3月31日時点)の中心市街地の概況

平成20年に策定した第1期中心市街地活性化基本計画（以下、計画という）では、計画推進中に発生したリーマンショックによる景気後退によって、大型店の売上や宿泊施設の利用者数が減少するなどの影響を受け、目標指標で掲げた歩行者通行量等は未達成となった。

それらを改善するべく平成25年に策定した第2期計画では、商業施設、高齢者福祉施設、住宅棟の3棟からなる「豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業」等を基幹事業に実施してきた。平成29年に再開発ビル「KiTARA」が完成し、昭和60年からの豊田市駅周辺の再開発構想も完成を迎えた。また、計画で掲げた目標指標は、先述の住宅棟の入居が始まったことにより、全て達成することができた。

平成30年度からの第3期計画では、第2期計画までの課題であった昼間のにぎわいづくりと、再開発により整備された都市機能を最大限に活かした「公民連携によるまちづくり」を目指して、官民合計37事業に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標に掲げたすべての指標は未達成となった。

それらの改善に向け、令和5年度からの第4期計画では、第3期計画までの課題であった居住、商業、エリアマネジメント、都市機能、産学官連携の分野の課題解決に向け、官民合計32事業に取り組んでいる。

計画1年目となる令和5年度は、令和8年の2026アジア競技大会を一つの目標に実施される都心環境計画に基づく都市施設整備が本格的に着工されたことで、公共的空間が減少し、利活用について課題が見えたが、目標指標は順調に推移した。

計画2年目となる令和6年度は、博物館がオープンしたことにより、地域の魅力が高まり、来訪者を呼び込むことで、まちなかの活気やにぎわいの創出に寄与したと考えられる。

今後についても、引き続きまちなかのにぎわいづくりに寄与する仕組みの検討を進めていくとともに、豊田市駅周辺の工事の状況や公共的空間の特性を考慮した環境整備、事業の実施をしていく必要がある。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 中心市街地の居住人口

(基準日：毎年度1月1日)

(中心市街地 区域)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
人口	13,394 人	13,458 人	13,473 人			
人口増減数	106 人	64 人	▲15 人			
自然増減数	▲42 人	▲45 人	▲58 人			
社会増減数	120 人	71 人	55 人			
転入者数	1,011 人	995 人	979 人			

(2) 中心市街地の地価

(単位：円/㎡)

	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
住宅地 (平均)	145,000	150,500	156,500			
商業地 (平均)	230,250	240,250	253,000			

2. 令和6年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

第4期計画の2年度目となり目標指標として掲げている「居住人口」「歩行者通行量」「創業者数」それぞれ順調に推移していると評価できる。

「居住人口」の増減幅は昨年度よりも減少しているものの、市街地には建設途中のマンションもあり、4月にオープンした博物館による文化的な魅力創出や、エリアマネジメント事業によるにぎわいの創出もあり、4期計画期間である令和9年度までの間に継続した転入者増に期待したい。

「歩行者通行量」「創業者数」は豊田市駅近辺の工事の進行具合による一時的な増減や、補助金等のトレンドにより左右される影響もうかがえるが、(一社)TCMが中心となり推進しているエリアマネジメントによる取り組みの効果が出始めてきたといえる。

また、中心市街地の地価も上昇傾向が続いており一定の波及効果をもたらしている。

第3期計画中にはコロナ後を見据えた取組として、公共空間での椅子、人工芝の敷設等の設え整備（社会実験）や、屋外空間を活用したマーケット開催等による日常的な来街促進、回遊性、及び屋外空間の滞在性向上を狙った事業を行ってきた。昨年度に引き続き、日常的な事業を補完するような休日集客イベントによるにぎわいづくり事業が活発に開催されることは、第3期計画とのつながり、長年の積み重ねの効果を存分に発揮した取組になったことは評価できる。

一方で豊田市駅東口駅前広場整備事業、豊田市駅西ペDESTリアンデッキ整備事業の本格的な大規模工事が開始され、豊田市駅ペDESTリアンデッキの東西通路の分断によるまちなか回遊性、経済的な活動や市民の活発な公共空間活用には工夫が必要な場面もある。

第4期目という長きにわたる計画のなか、中心市街地活性化協議会として、過去の計画での成果を参考にし、活用できる要因は幅広く取り込み、第4期計画の事業推進に期待する。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値 (R3)	目標値 (R9)	最新値 (R6)	基準値からの改善 状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の 見通し	今回の 見通し
まちなかの定住者を増やす	居住人口の社会増減数	▲49 (人/年)	108 (人/年)	55 (人/年)	B	A	A
日常生活を支える商業の再生	歩行者通行量(休日)	16,186 (人/日)	19,380 (人/日)	22,887 (人/日)	A	A	A
エリアマネジメントの推進							
プレイスメイキングの推進							
まちなかでの起業	創業者数	3 (件/年)	12 (件/年)	6 (件/年)	B	A	B

< 基準値からの改善状況 (※1) >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A : 目標達成が見込まれる

B : 目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C : 目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「< 基準値からの改善状況 (※1) >」、< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。(例：a、b、c)

2. 目標達成見通しの理由

目標指標の「居住人口の社会増減数」及び「歩行者通行量」については、計画推進によってエリアの魅力が向上したこと及び民間共同住宅の開発や世界ラリー選手権等の大型集客イベント、博物館の開館による賑わい創出が影響し、目標達成に向けて順調に推移していると考えます。

目標指標の創業者数については、基準値を上回る結果ではあるが、昨年度数値及びトレンド推計値を下回る結果となった。

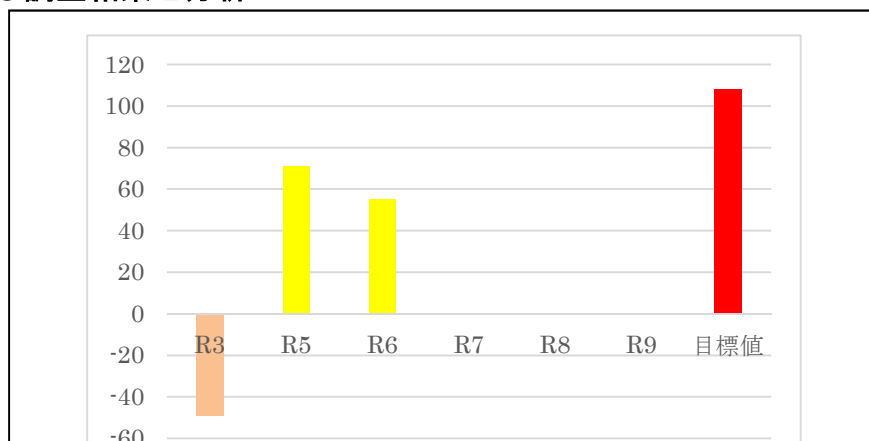
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前述のとおり、目標指標の創業者数については、基準値を上回る結果ではあるが、昨年度数値及びトレンド推計値を下回る結果となったため、まちなかでの起業・創業の推進について見通しを変更とした。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「居住人口の社会増減数」※目標設定の考え方：認定基本計画 P. 58～P. 59 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
R3	▲49 (基準年値)
R5	71
R6	55
R7	
R8	
R9	108 (目標値)

※調査方法：豊田市住民基本台帳より中心市街地（16 町）の居住人口の社会増減数を確認

※調査月：1 年間を通じて

※調査主体：豊田市

※調査対象：中心市街地（16 町）の居住者

	令和 4 年度 (計画前年度)	令和 5 年度 (1 年目)	令和 6 年度 (2 年目)	令和 7 年度 (3 年目)	令和 8 年度 (4 年目)	令和 9 年度 (5 年目)
転入	1,011 人	995 人	979 人			
転出	891 人	924 人	924 人			
増減	120 人	71 人	55 人			

〈分析内容〉

- ・ 転入は昨年度より減少、転出は同数であり増減値が前年度よりも減少している。
- ・ 基準年よりは回復傾向にあるが、前年度の値より悪化した。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 低未利用地を活用した共同住宅等の誘導事業

(実施主体：都市計画課、都市整備課、財産管理課、資産経営課)

事業実施期間	令和5年度～令和9年度【実施中】
事業概要	駅前の共同住宅への住み替え需要を踏まえ、中心市街地の複合的な高度利用の整理と低未利用地等の敷地を確保し、共同住宅等を誘導
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	低未利用地等の活用による共同住宅等の立地誘導に向け、補助制度等による事業者支援や市有地の利活用に向けた情報収集を実施
事業の今後について	早期住宅供給に向け、民間支援及び市有地の効果的活用に向けた調査等を実施

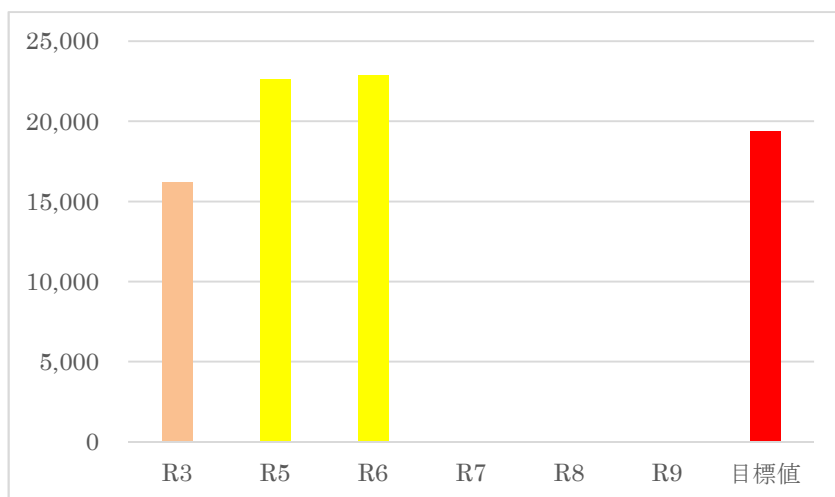
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗している。

今後も、共同住宅等の誘導事業を推進するため、市が保有する低未利用地の情報収集を実施するほか、活用方法について検討していくことが必要である。

(2)「歩行者通行量（休日）」※目標設定の考え方：認定基本計画 P.59～P.63 参照

●調査結果と分析



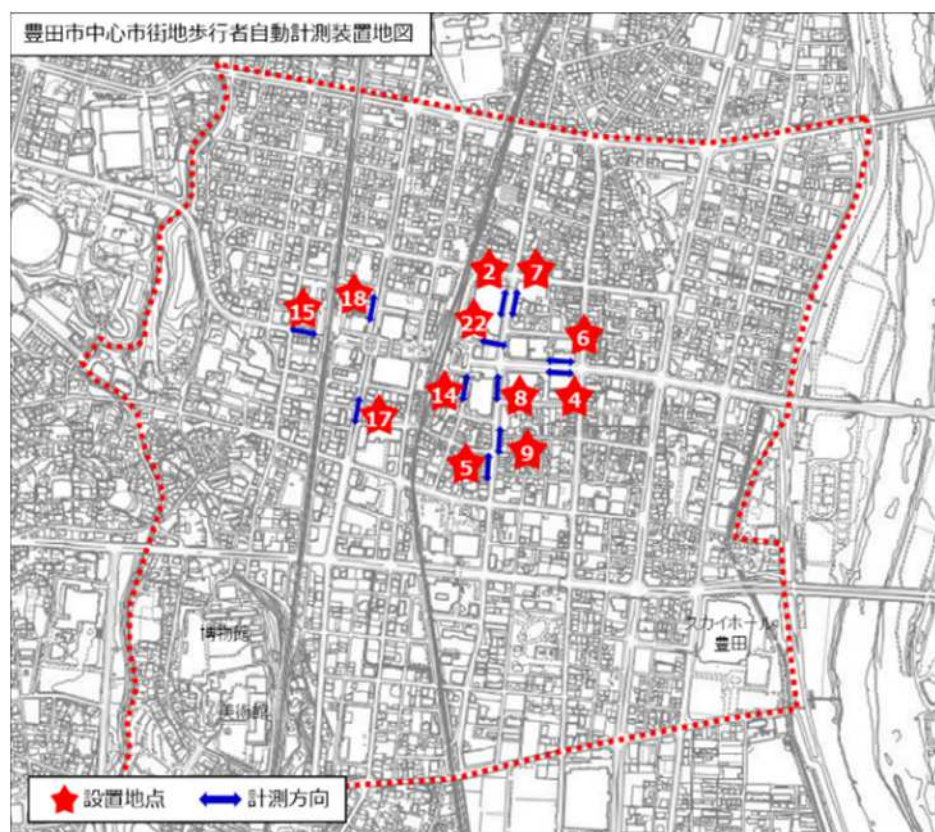
年	(単位：人/日)
R3	16,186 (基準値)
R5	22,626
R6	22,887
R7	
R8	
R9	
R9	19,380 (目標値)

※調査方法：豊田市中心市街地歩行者自動計測装置による測定（12 地点）

※調 査 月：1 年を通して（休日 5 時から 24 時）

※調査主体：豊田市

※調査対象：歩行者



(単位：人／日)

	令和 4 年度 (計画前年度)	令和 5 年度 (1 年目)	令和 6 年度 (2 年目)	令和 7 年度 (3 年目)	令和 8 年度 (4 年目)	令和 9 年度 (5 年目)
地点 2	2,231	1,899	1,816			
地点 4	2,475	2,451	2,618			
地点 5	960	978	950			
地点 6	2,030	2,395	2,411			
地点 7	1,660	1,921	1,884			
地点 8	1,134	1,009	791			
地点 9	993	1,082	1,089			
地点 14	1,142	1,228	1,343			
地点 15	982	1,027	1,004			
地点 17	2,418	2,681	3,155			
地点 18	1,524	1,866	2,005			
地点 22	3,684	4,104	3,827			
合計	21,226	22,626	22,887			

※数値はすべて小数点以下切り上げのため合計と誤差あり

〈分析内容〉

- ・大型イベント等を契機に実施した取組により豊田市駅西側の通行量が増加した。
- ・基準年より回復傾向にあり、目標値の達成に向けて微増ではあるが順調に進捗している。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果**①. 豊田市駅東口駅前広場整備事業**

(実施主体：都市整備課)

事業実施期間	平成 21 年度～令和 11 年度【実施中】
事業概要	豊田市駅東口における駅前広場の整備 A=7,400 m ²
国の支援措置名 及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（豊田都心地区）） （国土交通省）
事業目標値・最新 値及び進捗状況	東口ペDESTロリアンデッキ耐震補強工事及び東口ロータリー整備 工事を実施
事業の今後につ いて	東口交通広場整備工事を実施予定

②. 豊田市駅西口ペDESTロリアンデッキ整備事業

(実施主体：都市整備課)

事業実施期間	平成 29 年度～令和 7 年度【実施中】
事業概要	ユニバーサルデザインのデッキに向けた再整備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（豊田都心地区）） （国土交通省）
事業目標値・最新値及び進捗状況	西口デッキ整備工事を実施
事業の今後について	引き続き西口デッキ整備工事を継続実施予定

③. 都心地区新設サイン整備事業

(実施主体：都市整備課)

事業実施期間	平成 29 年度～令和 11 年度【未】
事業概要	施設への回遊性を促すサイン施設設備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（豊田都心地区）） （国土交通省）
事業目標値・最新値及び進捗状況	実績なし
事業の今後について	サイン設置工事の実施

④. 市道西町若宮線歩車共存道路整備事業

(実施主体：都市整備課)

事業実施期間	平成 30 年度～令和 7 年度【実施中】
事業概要	歩行者が安全に通行できる歩道の整備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（豊田都心地区）） （国土交通省）
事業目標値・最新値及び進捗状況	電線共同溝整備工事の全線完了及び歩車共存道路整備工事の実施
事業の今後について	歩車共存道路整備工事の実施

⑤. 緑と花につつまれた都心創出事業

(実施主体：公園緑地課)

事業実施期間	平成 30 年度～令和 7 年度【実施中】
事業概要	緑の環境都市軸（スタジアムアベニュー）を中心とした、都心において緑化と花飾りを一体的に整備・管理
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	豊田市停車場線（豊田市駅～豊田スタジアム）沿いへの花飾りと緑化施設の維持管理を実施
事業の今後について	継続実施予定

⑥. 博物館整備事業

(実施主体：博物館)

事業実施期間	平成 29 年度～令和 6 年度【済】
事業概要	歴史・文化財や関連する自然についての展示、学習支援・交流調査・研究、収集を推進する施設の整備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）（国土交通省） 令和 2 年度～令和 5 年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 6 年 4 月 26 日豊田市博物館開館
事業の今後について	-

⑦. 広場等屋外空間を活用した賑わい・滞在・快適性向上事業

(実施主体：一般社団法人 TCCM)

事業実施期間	平成 25 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	公共的空間活用の社会実験から本格実施につなげていくことを目指す
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	利便増進協定にもとづき停車場線歩道を使用し Toyota Street Market を毎月定期開催（8 回/年） 停車場線を使って（ホコ天）まちなか賑わい創出イベントの開催（2 回 マーケット&JAZZ/5 月、WRC/11 月） 中心市街地都市公園を利用し STREET & PARK MARKET を毎月定期開催（11 回/年） 美術館、博物館の庭園を使用したマルシェ 2 回/年開催
事業の今後について	利便増進協定にもとづき停車場線歩道を使用し Toyota Street Market を毎月定期開催（6 回/年） 停車場線を使って（ホコ天）まちなか賑わい創出イベントの開催（2 回 マーケット&JAZZ/5 月、WRC/11 月） 中心市街地都市公園を利用し STREET & PARK MARKET を毎月定期開催（11 回/年） 市美術館、博物館の庭園を使用したマルシェ 1 回/年開催

⑧. 西口ペDESTリアンデッキ広場活用事業

(実施主体：産業振興課、一般社団法人 TCCM)

事業実施期間	令和 5 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	豊田市の西口ペDESTリアンデッキの耐震補強に合わせて、西口ペDESTリアンデッキ広場の備え、活用等を検討
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	将来の新広場の設え・配置の検討、及び運営・管理・活用方法等の検討、飲食施設の機能、レイアウト、及び事業者誘致等運営・管理方法の検討、広場のデザイン・レイアウトの提案の実施
事業の今後について	将来の新広場の設え・配置の検討、及び運営・管理・活用方法等の検討、飲食施設の機能、レイアウト、及び事業者誘致等運営・管理方法の検討

⑨. まちなか案内機能整備事業

(実施主体：産業振興課、一般社団法人 TCCM)

事業実施期間	平成 22 年度～令和 4 年度【済】
事業概要	来街者へのまちなか情報発信機能の整備・運営、豊田市駅東口駅前広場整備事業にあわせたまちなか案内機能の検討・整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	THE CONTAINER n6 再整備、民設民営の場合の再整備に向け官民で検討 中小機構の支援制度(P 型) を活用し、都市再生推進法人が整備する役割・考え方、機能配置、施設デザイン、人材育成、資金調達、事業収支、及び駅東口まちなか広場の運営・管理との連動等について検討を実施
事業の今後について	THE CONTAINER n6 再整備、民設民営の場合の事業計画案の作成（中小機構支援制度を活用しワークショップ形式での検討会の開催の継続）

⑩. 都心公共施設活性化事業

(実施主体：産業振興課)

事業実施期間	平成 22 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	県公共施設で実施するイベント等に訪れる利用者をまちへ回遊させる事業を展開し、中心市街地及び周辺の公共施設とまちの連携強化並びに回遊性向上事業の展開
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	各施設にて実施
事業の今後について	各施設にて実施予定

⑪. 低炭素社会モデル地区整備事業

(実施主体：未来都推進課)

事業実施期間	平成 23 年度～令和 5 年度【済】
事業概要	パビリオン、スマートハウス、緑化・特殊舗装施設、地産地消ハウス、水素ステーション、マルチ・モービルステーション等の整備・運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 5 年度にて事業が終了したため施設の解体を実施
事業の今後について	-

⑫. 参合館長寿命化改修

(実施主体：豊田参合館管理協議会)

事業実施期間	令和 5 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	施設の老朽化対策と施策・社会ニーズへの対応を一体的に進め、施設利用環境の整備による施設の長寿命化を図る
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	長寿命化改修工事における緊急修繕を要する工事の「管工事」及び「受変電設備更新」の契約締結
事業の今後について	令和 6 年度に契約した豊田参合館長寿命化修繕工事の「管工事」と「受変電設備更新」を継続

⑬. まちなかインフォメーション事業

(実施主体：一般社団法人 TCCM)

事業実施期間	平成 29 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	来街者に対してまちなかの情報発信を実施
国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地商業活性化診断・サポート事業 令和 5 年度～令和 9 年度
事業目標値・最新 値及び進捗状況	まちなかインフォメーション、まちなか宣伝会議事業の情報発信、 事業受付等を実施 行政サービス（おいでんバス高齢者定期販売、マンホールカード配 布、サイネージによる観光情報提供）を実施 コーヒー、スイーツ&アルコール飲料販売を実施
事業の今後につ いて	まちなかインフォメーション、まちなか宣伝会議事業の情報発信、 事業受付等を実施予定 行政サービス（おいでんバス高齢者定期販売、マンホールカード配 布）を実施予定 コーヒー、スイーツ&アルコール飲料販売を実施予定

⑭. 豊田市駅周辺地区のエリアマネジメント推進事業

(実施主体：一般社団法人 TCCM)

事業実施期間	令和 5 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	県豊田市駅周辺地区のステークホルダー等が連携してエリアの魅 力化、安全安心なまちづくり、快適性の向上等をめざし、屋外空間 等を活用する事業の検討・実施
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新 値及び進捗状況	エリアの情報共有、課題等の対応を検討する「豊田市エリアマネジ メント協議会」の設立(7月) 協議会内にエリアの課題等の対応を検討するグループを設置（公共 空間 WG、プロモーション WG） 都心環境計画整備事業の情報共有、エリマネの関連、都市再生推進 法人の役割等を検討する官民意見交換会の実施（6 回/年） 豊田市駅東西の一斉清掃活動の実施（12 回/年）
事業の今後につ いて	エリアの情報共有、課題等の対応を検討する「豊田市エリアマネジ メント協議会」の開催予定 公共空間 WG、プロモーション WG にてエリアの課題等の対応の検 討を実施予定 都心環境計画整備事業の情報共有、エリマネの関連、都市再生推進 法人の役割等を検討する官民意見交換会を実施予定（5 回/年） 豊田市駅東西の一斉清掃活動を実施予定（12 回/年）

⑮. 都市再生推進法人（一社）TCCM）によるまちづくり及びプロモーション事業
（実施主体：一般社団法人 TCCM）

事業実施期間	平成 28 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	県法人格を持ったまちづくり組織が事業収益を得て、新たなまちづくり事業に還元する
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	エリアマネジメントに関する取組や研究会の運営、都市再生推進法人としての事業推進（まちづくり事業） まちなか宣伝会議、映画を活かしたまちづくり実行委員会による事業、ENJOY！ラリーモーターフェスタ 2024 を実施（プロモーション事業）
事業の今後について	エリアマネジメントに関する取り組みや研究会の運営、都市再生推進法人としての事業推進を予定（まちづくり事業） まちなか宣伝会議、映画を活かしたまちづくり実行委員会による事業、ENJOY！ラリーモーターフェスタ 2025 を実施予定（プロモーション事業）

⑯. 中心市街地テナントミックス推進事業
（実施主体：豊田まちづくり（株）ほか民間事業者）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	豊田市中心市街地テナントミックスビジョンに基づき、中心市街地大型商業施設が一体となってひとつの商業モールとして機能するよう、テナントリーシングや施設整備、テナントミックス推進における課題を共有
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	新規出店数 24 店舗 歩行者通行量増加（愛知環状鉄道、豊田参合館、KITARA 付近）
事業の今後について	商業施設の役割・まちと施設のつながりを意識し、各施設の課題や問題を含めたリーシング情報の共有とフィードバックを実施予定 まちなかショップガイドの発行を予定

⑰. 商業・サービス機能誘致奨励事業

(実施主体：産業振興課)

事業実施期間	平成 17 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	中心市街地に商業サービス機能の拠点となる大型施設（1,000 ㎡以上）が新規に進出した場合等に、固定資産税・都市計画税・事業所税相当分を補助
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	交付件数：1 件 交付先：豊田まちづくり（株）
事業の今後について	1 件交付予定 集客力のある大型商業施設等の誘致を推進し、中心市街地の商業・サービス機能を充実、強化するため実施予定

⑱. 公共空間等整備事業

(実施主体：産業振興課)

事業実施期間	平成 27 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	大型商業施設における広場、トイレ、休憩スペース等の公共的空間や施設の整備等に要する経費に対する補助
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	補助金交付実績なし 関係機関へ活用の可能性を確認
事業の今後について	必要に応じて、来訪者にとって快適な空間に向けた整備を実施し、また訪れたくなるまちとなるよう、おもてなし環境の向上を目指す

⑱. 空き店舗等活用事業

(実施主体：産業振興課、商業・サービス事業者)

事業実施期間	昭和 53 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	空き店舗等の遊休資産活用や民間投資を先導する不足業種等の誘致のためのチャレンジショップ・コミュニティ施設等の整備に対し、店舗等の改装費や工事期間内の家賃を補助
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	補助金交付実績なし 空き店舗に対する支援策の検討
事業の今後について	空き店舗（退店予定含む）に対する支援策の検討を実施予定

⑳. まちなか賑わい・回遊性向上事業

(実施主体：一般社団法人 TCCM)

事業実施期間	平成 15 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	地域商業者、公共施設、メディア関係者等で構成する「中心市街地 まちなか宣伝会議」が情報発信、集客イベント等を合同で実施
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	まちなか宣伝会議の開催（月次定例 12 回）及び関連事業の実施 まちパワーSPRING 3 月 サポーター店（グランパス、ヴェルブリッツ、美術館、映画、マラソン） 情報発信（ディズニーオンアイス スイーツ特集） WRC 関連プレミアム商品券 11 月～2 月
事業の今後について	まちなか宣伝会議の開催（月次定例 12 回）及び関連事業の実施を予定 まちパワーSPRING 3 月予定 サポーター店（グランパス、ヴェルブリッツ、美術館、マラソン） 実施予定

②①. 豊田おいでんまつり事業

(実施主体：豊田おいでんまつり実行委員会)

事業実施期間	昭和 43 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	本市最大のまつり行事を中心市街地において開催
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 6 年 7 月 27 日（土）おいでん総踊り 参加者数：55 連 1,560 人、リトル：12 連 363 人 令和 6 年 7 月 28 日（日）花火大会 観客数：13,578 人（協賛席入場者数） 達成度：本市最大のまつり行事を中心市街地において開催する事業であり、中心市街地への来街促進、にぎわいの創出及び間接的な歩行者通行量の増加に寄与した。
事業の今後について	おいでん総踊り：令和 7 年 7 月 26 日（土）実施予定 花火大会：令和 7 年 7 月 27 日（日）実施予定

②②. 中心市街地イルミネーション事業

(実施主体：イルミネーションストーリー実行委員会)

事業実施期間	平成 12 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	豊田市駅周辺で行うイルミネーション装飾及びサブイベントの実施
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	実施期間：令和 6 年 11 月 21 日（木）～令和 7 年 1 月 13 日（月） 達成度：駅前工事に対応した新たな装飾を実施したことや、世界ラリー選手権の開幕に合わせた点灯式の実施とすることでラリーイベントとの一体感や盛り上がりを創出し、歩行者通行量の増加にした。
事業の今後について	実施予定

②③. 商店街にぎわい創出支援事業

(実施主体：産業振興課)

事業実施期間	昭和 53 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	商店街が実施する顧客の獲得、販売促進等の事業機会の拡大を目的として実施する事業及び防犯設備や街路灯の整備に対する補助
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	各商店街の活性化計画に基づく事業実施に対する支援の実施
事業の今後について	各商店街の活性化計画に基づく事業実施に対する支援を実施予定

②④. まちなかコミュニティ施設連携事業

(実施主体：豊田まちづくり(株))

事業実施期間	平成 27 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	コミュニティ機能を併設した施設の活用を実施
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	MAMATOCO 活性化で地域の魅力化、回遊性向上 豊田こまちリンパケア 前年比 58% 空飛ぶ羊 前年比 88% レンタルスペース 141% WEB 申込により利用者増つつある
事業の今後について	施設のテーマ(ママと子の活動場所)にあったワークショップイベントの開催により、施設の魅力を伝えるとともにテナントへの買上客数増加とレンタルスペースの利用者数の増加を図る。

②⑤. 豊田市駅バス停留所施設整備事業

(実施主体：都市整備課、交通政策課)

事業実施期間	平成 29 年度～令和 7 年度【実施中】
事業概要	豊田市駅バス停留所待機施設(公共交通情報提供、待合所等)の整備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業(豊田都心地区))(国土交通省)
事業目標値・最新値及び進捗状況	北側(T-FACE B 館側)のバス停留所整備工事を実施
事業の今後について	南側(T-FACE A 館側)バス停留所整備工事を実施予定

②⑥. 基幹バス路線運行事業

(実施主体：交通政策課)

事業実施期間	平成 19 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	都心と各地域核を結ぶ基幹バスの運行
国の支援措置名 及び支援期間	地域公共交通確保維持改善事業 令和 5 年度～令和 9 年度
事業目標値・最新 値及び進捗状況	都心と各地域核を結ぶ運行を適切に実施
事業の今後につ いて	都心と各地域核を結ぶ運行を継続実施

②⑦. 先進移動技術等実証事業

(実施主体：未来都市推進課)

事業実施期間	平成 25 年度～【実施中】
事業概要	環境負荷の小さい次世代自動車（パーソナルモビリティ・電気自動車）のシェアリングシステムの活用実証
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新 値及び進捗状況	歩行者領域 BEV「C+walk」のシェアリングサービス「まち+モビ」を中心市街地で実施。
事業の今後につ いて	「まち+モビ」の継続 「まち+モビ」認知度向上のための体験会等イベントを実施

②⑧. 豊田市駅駅舎改修事業

(実施主体：名古屋鉄道（株）、都市整備課)

事業実施期間	平成 21 年度～令和 8 年度【実施中】
事業概要	名鉄豊田市駅の耐震化、北改札の設置、景観整備（全体）
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新 値及び進捗状況	駅舎耐震補強工事及び駅舎改修工事の実施
事業の今後につ いて	駅舎耐震補強工事及び駅舎改修工事の継続実施

②9. 駐車場利便性向上事業

(実施主体：豊田まちづくり（株）、産業振興課)

事業実施期間	平成 25 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	駐車場再整備、フリーパーキング駐車場の誘導方法及びシステムの見直し
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	フリーパーキング利用状況から駐車場への誘導方法及びシステムの見直しの協議及び検討を実施
事業の今後について	フリーパーキング利用状況から駐車場への誘導方法及びシステムの見直しを検討し、駐車場利便性向上を図る 関係者へのヒアリング、利用者調査の実施

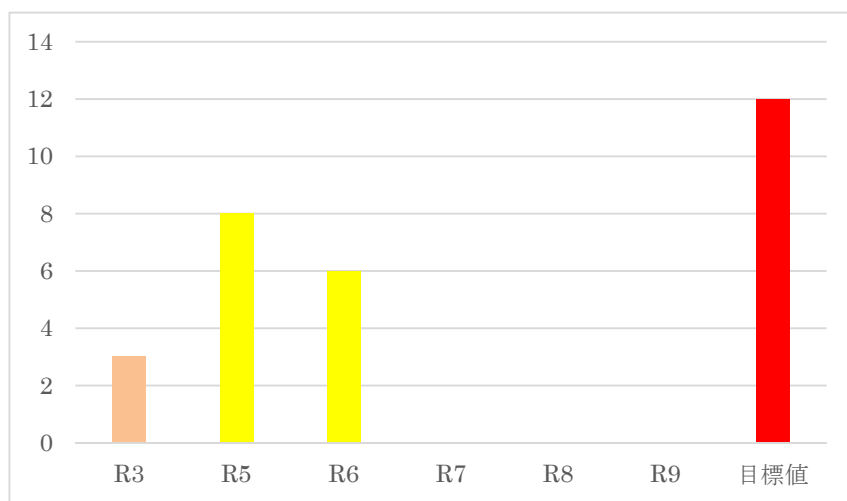
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗している。

今後は豊田市駅周辺を中心とした工事の影響で歩行者の利便性低下が懸念されるが、各種イベント及び事業による公共的空間の活用により、目標達成に向けて回遊性向上を目指す。

（３）「創業者数」 ※目標設定の考え方：認定基本計画 P.64～P.65 参照

●調査結果と分析



年	(単位：件/年)
R3	3 (基準値)
R5	8
R6	6
R7	
R8	
R9	
R9	12 (目標値)

※調査方法：特定創業支援事業証明書を交付した創業希望者の数を確認

※調査月：1年を通じて

※調査主体：豊田市

※調査対象：証明書を交付した創業希望者のうち中心市街地で創業を希望する者

〈分析内容〉

- ・昨年度と比較して減少しており、トレンド推計値よりも下回っている状況である。
- ・基準年よりは回復傾向にあるが、前年度の値より悪化した。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. ものづくり創造拠点運営事業

(実施主体：次世代産業課)

事業実施期間	平成 29 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	ものづくりに関する機能を集約した中小企業の新たな事業展開などを支援する拠点の運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	スタートアップによる新産業創出支援、中小企業のデジタル化・カーボンニュートラルの促進、ものづくり人材の育成支援、中小企業の新たな事業展開支援を実施
事業の今後について	のづくり人材の育成支援、中小企業の新たな事業展開支援、スタートアップによるオープンイノベーション・新産業創出支援、中小企業のデジタル化・カーボンニュートラルの促進を実施予定

②. まちなかエリア新規創業相談・支援事業

(実施主体：豊田商工会議所)

事業実施期間	平成 28 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	創業相談・支援事業
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新 値及び進捗状況	8 件の新規創業相談及び支援を実施
事業の今後につ いて	9 件を目標とし新規創業相談及び支援を実施予定

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しているが、目標の達成は難しい状況である。

引き続き中小企業を中心とした支援を実施し、創業意欲が湧くための魅力づくりを検討することで、まちなかエリアでの創業を推進する。